

講演2：
インド国内事務所駐在員による各事務所担当地域の概況

グジャラート州

日本貿易振興機構（ジェトロ）
アーメダバード事務所

略歴



ジェトロ・アーメダバード事務所
ディレクター 丸崎 健仁
Kenji_Marusaki@jetro.go.jp

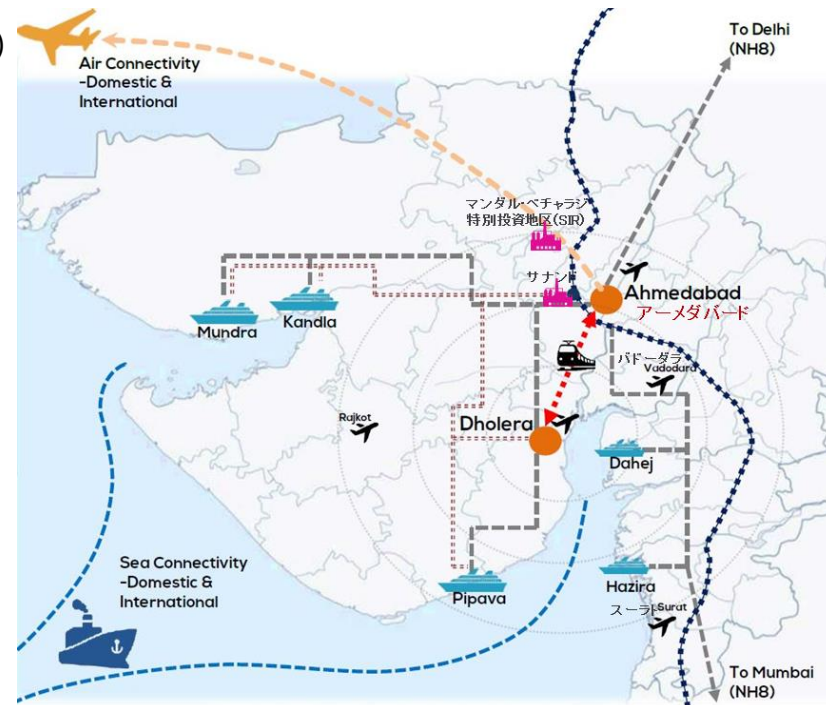
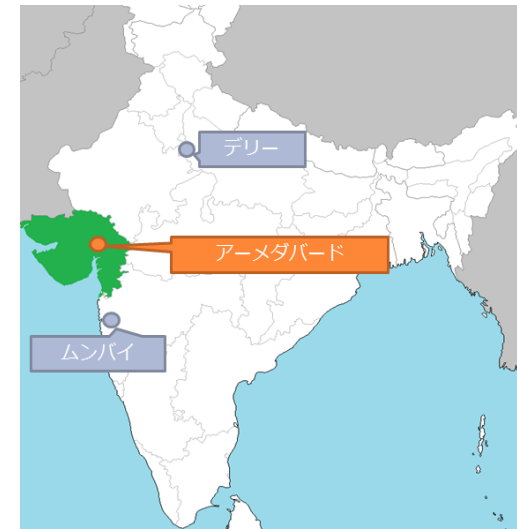
2010年：ジェトロ入構。
チェンナイ事務所での実務研修（2014～2015年）、ビジネス
展開支援部グローバル人材班、企画部海外地域戦略班（南西
アジア）を経て、2018年3月より現職。グジャラート州に関
する調査レポート50本以上執筆

1. グジャラート州の概況

1. 州都: ガンディナガル(Gandhinagar)
2. 最大都市: アーメダバード(Ahmedabad)
3. 面積: 196,063km²(インドの総面積の約6%)
4. 人口: 6,038万人(総人口の約5%)
5. 主要言語: グジャラート語(識字率78.03%)
6. 州首相: ヴィジェイ・ルパニ(インド人民党:BJP)
※モディ首相は2001年～2014年に州首相
7. 経済: 9兆8445億ルピー(インドGDP全体の約7.6%)
8. 日系企業数: 約60社

スズキ・モーター・グジャラート(SMG)、ホンダ・モーターサイクル・アンド・スクーター・インディア(HMSI)、ユニ・チャーム、MORESCO、王子製紙、TOTO、三菱重工業、三菱アルミニウム、ROKI ミンダ、TS テック、豊田通商、日立ハイレル、三井金属、みずほ銀行、大塚製薬、大手ゼネコン、物流会社 ほか

9. 在留邦人数: 約450人
10. 国際都市交流: 兵庫県(2016年交流協定)・
神戸市(2019年)・広東省(姉妹都市)



2. グジャラート州の感染状況・州独自の対策、邦人退避状況

(1) 感染拡大中（死亡率がインド最大：GJ州全体6.2%、アーメダバード市約7.0%）

2020年5月5日時点



2020年6月5日時点

主な地区	感染確認者(人)	治療患者(人)	死亡者(人)	主な地区	感染確認者(人)	治療患者(人)	死亡者(人)
アーメダバード	4,425	3,448	273	アーメダバード	13,678	3,231	968
スーラト	723	408	33	スーラト	1,942	583	76
バドーダラ	405	217	30	バドーダラ	1,224	461	42
ガンディナガール	79	61	4	ガンディナガール	381	194	15
メーサナ(日系企業工業団地周辺)	42	35	0	メーサナ(日系企業工業団地周辺)	147	61	6
合計	6,245	4,496	368	合計	19,119	4,918	1,190

(出所) <https://www.covid19india.org/>を基にジェトロ作成

- ①5/20～6/2(2週間)は平均391名増加。6/3:483名増、6/4:484名増、6/5:510名増
- ②6月中には感染確認者27,120人になるとの予測（ARIMAモデルによる推定値）
- ③アーメダバード市の感染源が7割超。旧市街（ムスリム街）がクラスターに
- ④市内の医療従事者200名以上が感染。病院（計約4,000～4,500床）が満床近い
- ⑤市内には外国人専用のコロナ対策病院は無し。現地病院での受診or自宅療養
- ⑥日本語で受診可能な病院はなし（会社等で契約した医療サービスを利用し、電話での通訳を介した医師とのコミュニケーションは可）

2. グジャラート州の感染状況・州独自の対策、邦人退避状況

(2) グジャラート州独自の新型コロナ感染対策について

① アーメダバード行政区完全ロックダウンを発表（5月6日）

- 新型コロナウイルス感染者数の増加が5月1日以降に加速したことを受け、5月7日午前0時から15日午前6時までの1週間、市内での果物や野菜、日用品の販売許可を撤回し、ミルクと薬の販売のみ認める通達を発出

② 従業員の健康診断結果の報告義務を定めたガイドラインを発表（5月10日）

- 新型コロナウイルス感染拡大抑制策として、アーメダバード行政区で操業する全ての企業に対し、11日より運用を開始。マンダル・ベチャラジ地域、サナンド地域の日系企業約40社も対象に
- 州保健省医療チームに対し、毎日の健康診断（検温、酸素飽和度(SPO2)の測定)結果報告と週1回の医師による問診・メディカルレポートを提出することが義務付けられた
- ロックダウン終了後も報告義務が継続される可能性が高い。コロナ感染者発生後の対応も重要

(3) 邦人の退避状況（約250名が一時退避。JETROは邦人一時退避を支援）

① ムンバイ発ANA臨時便（4月15日） 搭乗に係るサポート
日系企業145名、バスで約15時間の移動を経てムンバイに移動

② デリー発JAL臨時便（5月4日） 搭乗に係るサポート
日系企業48名、デリーまで国内チャーター便で移動



3.進出日系企業の操業再開の動き・課題点、新規投資の動き

(3) グジャラート州の日系各社は操業再開へ（**製造業は8割超が操業再開・準備**）

【ロックダウン4.0終了（5月31日）、ロックダウン5.0＝アンロック1.0（6月1日～30日）】

- 非常事態宣言発令後も特定業種や関連企業は概ね稼働継続（ユニ・チャーム、大塚製薬等）
従業員の通勤手段確保（通行証取得、警察による検問）や部材調達が困難に直面した時期
- ロックダウン2.0下の4月20日以降、活動再開可能業種と認められ各社操業再開準備に着手
- ロックダウン4.0下の5月下旬に、スズキ・グジャラート工場(SMG)、ホンダ二輪第四工場が
相次いで操業再開（生産調整などで生産台数は大幅減）。部品メーカーも操業再開へ

【日系企業の抱えている課題】

- 5月分の給与削減を交渉中の企業がほとんど。
州外の契約社員の一部解雇を検討する企業も
- 工業団地周辺の村など地域社会への配慮
- 操業活動以外の負担が増大。コロナ罹患時の医療体制に不安、食材確保難、心身のケアなど本社のサポート体制強化による日本人駐在員の安全確保**

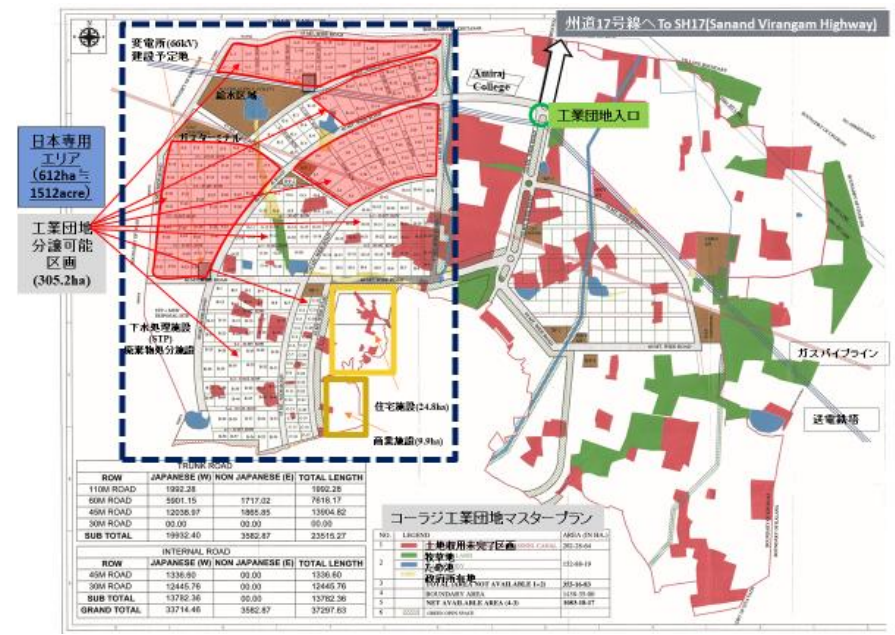


敷地内の消毒作業@マンダール日本企業専用工業団地
(4月21日撮影、グジャラート州産業開発公社提供)

3. 進出日系企業の操業再開の動き・課題点、新規投資の動き

(3) グジャラート州への新規投資の動き (コーラジ工業団地の入居案内を本格化)

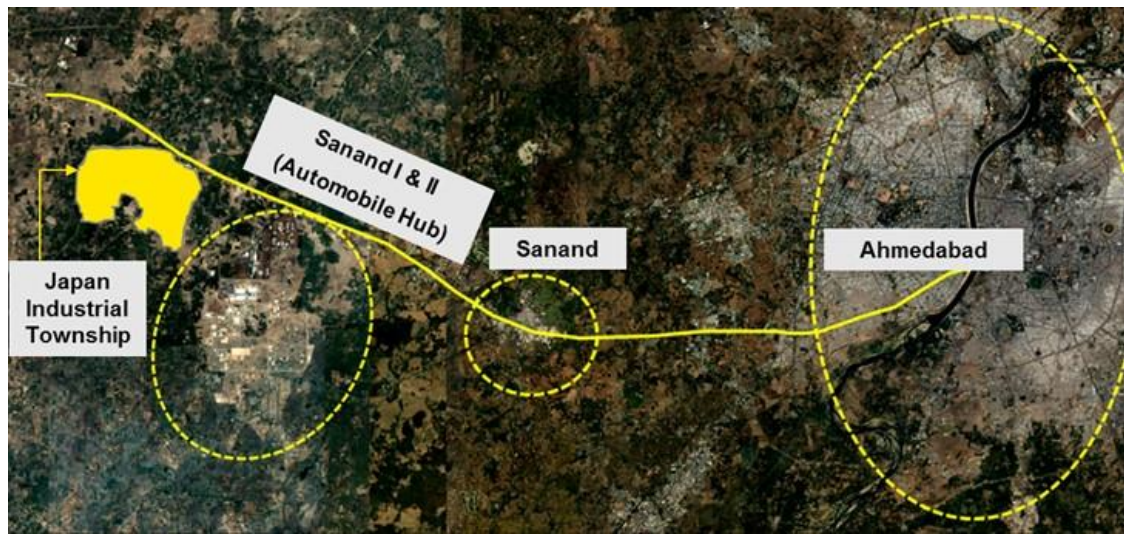
- JETROは新たな日本企業専用工業団地である「サナンドⅢ (コーラジ) 工業団地」への入居案内を本格化 (州政府との個別面談アレンジ・視察など)
- グジャラート州産業開発公社 (GIDC) も新たな投資を歓迎。オンラインで申請受付・承認手続き可
- 他方、サナンドⅡ 工業団地入居検討企業の中には、プロジェクトを一旦様子見とするなどの対応も



ジェトロ企画のコーラジ工業団地視察ツアー(日系企業15名が参加、19年1月19日)



コーラジ工業団地内の道路舗装工事はほぼ完了(19年11月28日ジェトロ撮影)



4. 2020年度の州政府政策、日系・外資系企業等の動き

経済・産業政策

● <重点業種・インセンティブ>

6月中に「Industrial Policy2020」が発表予定。自動車、化学、医薬品・医療機器、テキスタイル関連の州内へのさらなる投資呼び込みに向けた政策や中小企業向けのインセンティブ等が発表されるか注目

● <バイブラント・グジャラート2021>

州政府主催外国投資誘致サミット。21年1月10日～12日頃開催予定（状況次第で中止・延期も）

企業活動

● <日系自動車メーカー> インド自動車販売見通しとスズキ(SMG)の第3ライン稼働時期

● <関心の高い分野> 医療・衛生関連、Eコマース（加工食品、日用品等）、防犯設備、包装材など

● <インド初のスマートシティ「GIFTシティ」>

「グジャラート国際金融テックシティ（通称：GIFTシティ）」は、900エーカーのうち260エーカーを金融オフショア取引の経済特区（SEZ）に充てる。バンク・オブ・アメリカがグローバルビジネスサービスセンターを設立（19年12月）、**ロックダウン下に地場・外資系IT企業約30社の企業に対しオンライン上で入居承認**する（20年3月）など、**金融分野やIT関係企業の誘致に積極的**



「GIFTシティ」（19年12月17日、ジェットロ撮影）

● <中国企業>

MGモーター(上海汽車)@州南部ハルルは操業再開・増設の動き（20年中に年産10万台体制）

5. 関連情報リンク集

<感染状況に関する情報>

- ・グジャラート州 COVID-19 Dashboard

<https://gujccovid19.gujarat.gov.in/>

- ・COVID-19 India (インド全体)

<https://www.covid19india.org/>

- ・グジャラート州 Health, Medical & Family Welfare Dept.ウェブサイト

<https://gujhealth.gujarat.gov.in/news.htm>

<規制などに関する情報>

- ・グジャラート州政府 公式ウェブサイト

<https://gujaratindia.gov.in/>

- ・アーメダバード行政区 (Ahmedabad Municipal Corporation) 公式ウェブサイト

<https://ahmedabadcity.gov.in/portal/index.jsp>

- ・アーメダバード行政区 (Ahmedabad Municipal Corporation) 公式Twitter

<https://twitter.com/amdavadamc>

ご清聴有難うございました

【ご注意】

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。

主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。